



所属長	所属科長	事務(局/部)長
		

令和3年 4月 1日

理事長 殿

学 長 殿

令和2年度“オール近大”新型コロナウイルス感染症
対策支援プロジェクト研究報告書

標記の件に関しまして、別紙のとおり報告いたします。

また、本研究報告の内容は、近畿大学学術情報リポジトリ (KURepo) に公開する旨、承諾いたします。

1. カテゴリー	<input type="checkbox"/> 研究 <input checked="" type="checkbox"/> 開発・改良 <input type="checkbox"/> 提案
2. 企画題目	Kindai Express (地域密着型食料通販サイト兼大学生アルバイト支援アプリ) 開発

研究代表者

所 属 : _____ 附属中学校 _____

職・氏名 : _____ 古川 祐大 _____ 

令和2年度“オール近大”新型コロナウイルス感染症 対策支援プロジェクト研究報告書

企画題目	Kindai Express（地域密着型食料通販サイト兼大学生アルバイト支援アプリ）開発・提案
研究者所属・氏名	研究代表者：古川 祐大 共同研究者：吉野 泰史・増田 憲昭・室 享佑・森様・高地様

1. 研究、開発・改良、提案目的・内容

「東大阪の飲食店をフードロスから守りたい」

「近畿大学の学生の中で新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、収入が減りアルバイトもできずに困っている生徒に雇用のチャンスを与えたい」

という2つのテーマを持って私たちはこのプロジェクトに臨んでいます。

これらを同時に実現することができるのは地域密着型の食料通販サイトしかないと考えました。

近畿大学という大きな学園だからこそそれほど利益を求めず、地域に根差した持続可能なアプリ運営し、大きな学園の誇る多数の非常に優秀な個性あふれる人材を見ていただけるチャンスができるのではないかと。

そしてこのアプリを通じて正に「地域に愛される学校」を作ることができるのではないかと。

そのように考え、このアプリの開発・提案を始めました。

2. 研究、開発・改良、提案経過及び成果

社会連携推進センターの方から何年かのスパンで頑張してほしいと言われていましたが、新型コロナウイルスによる休校や外部の協力者の勤務地変更などもあり、連携をとるのが難しい状況であり苦労しました。その中で何度か会議を重ね企画を練ろうと努力をしました。

初期段階の方向性としましては、研究メンバーのフードロスに関する知識を深める方向で研修を企画するという流れでしたが、緊急事態宣言などで講師の先生もなかなか動きが取れず、交渉もうまく進まなかったため、自分たちで他に何かできることはないかと考え、近畿大学付近の飲食店の実態調査をする流れになりました。

アンケート内容をこちらで考え、アンケートの実施業者に委託しました。

現在もまだ回答が書面で送られてきている状態で、実際の生の飲食店関係者のご意見をいただき、今後アプリにどのような機能を盛り込んでいけば良いかなど検討し、反映させていきたい。

3. 本研究と関連した今後の研究、開発・改良、提案計画

アンケート結果がある程度でそろってきたら、地域の飲食店の方々のニーズに合わせてアプリに必要なことを盛り込んで、こういったアプリにするかをより推敲し、開発・提案していきます。

4. 研究成果の発表等

発表機関名	種類(著書・雑誌・口頭)	発表年月日(予定を含む)
なし。		

5. 開発・改良、提案課題の成果発表等

--